

Ⅲ 2年経験者研修

1 実施要項

1 目的

県内の公立の小学校・中学校及び義務教育学校並びに県立の中学校、高等学校及び特別支援学校（高知市立学校を除く。）の1年間の教職経験をもつ教諭に対して、若年教員育成プログラムの一環として1年間の研修を実施し、児童生徒理解に基づいた学級経営力や学習指導力を向上させるとともに、セルフマネジメント力の定着を図る。

2 研修対象者等

2年経験者研修の対象となる者は、次の者であって、この研修を受講する者（以下「受講者」という。）は、研修効果及び校務への影響等を考慮し、県教育委員会が年度当初に決定する。

- (1) 令和6年度採用公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭
- (2) 平成21年度以降採用で2年経験者研修を修了していない者。
- (3) (1)(2)に挙げる者のうち、教諭として、国立、公立又は私立の学校において1年以上勤務した経験を有する者で、県教育委員会が当該者の経験の程度を勘案して2年経験者研修を実施する必要があると認める者は対象としない。
- (4) 県教育委員会は、この研修を効果的に実施するため、必要があるときは、研修対象者の一部を次年度以降に繰り下げて受講させるなどの措置をとる。

3 研修内容及び研修日数

2年経験者研修は、高知県教育センター及び各教育事務所において実施する研修（以下「教育センター等研修」という。）で構成し、研修内容及び研修日数は、別表のとおりとする。

- (1) 小学校、中学校及び高等学校の受講者で、学校教育法第81条第2項各号または学校教育法施行規則第140条各号に該当する児童生徒を担当している者は、特別支援学校の研修計画で受講することができる。
- (2) 特別支援学校の受講者で、知的障害者である児童生徒を教育する場合の教育課程以外を担当している者は、小学校・中学校・高等学校の研修計画で受講することができる。

4 年間研修計画

(1) 作成と実施

高知県教育センター所長（以下「県教育センター所長」という。）及び教育事務所長は、この要項に基づき研修計画を作成し、効果的に研修を実施する。

(2) 作成上の留意点

- ア 若年教員育成プログラムの目的に応じた効果的な研修計画とする。
- イ 初任者研修との有機的関連を図る。
- ウ 教育事務所においては、地域の実情にも配慮する。

(3) 実施上の留意点

- ア 受講者が研修の目的を十分に理解し、研修参加の意欲を高めるよう配慮する。
- イ これまでの教育実践の中で明らかにされたそれぞれの課題を把握し、実践的指導力の向上につながるよう実施する。

5 校内指導体制等

- (1) 校長は、教育センター等研修及び在籍校での授業実践が円滑かつ効果的に実施できるよう校内指導体制を整備する。
- (2) 校長は、次のア、イに留意のうえ、教頭及び指導・助言に当たる者と連携し、2年経験者研修が効果的に実施できるよう努める。
 - ア 受講者に研修の目的を十分に理解させ、研修意欲を高めるよう配慮する。
 - イ 受講者の悩みや現状を把握して適切な助言・支援を行う等、研修意欲が継続するよう配慮する。

6 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、県教育センター所長が別に定める。

〈別表〉研修内容及び研修日数等

※ 〈全〉は全校種、〈小〉は小学校、〈中〉は中学校、〈高〉は高等学校、〈特〉は特別支援学校の略

	研修項目		研修内容		研修日数等	
教育センター等研修	共通課題研修	I	〈全〉 ■児童生徒理解に基づく学級・HR経営 ■教職員の服務		0.5日	1日
		II	[オンデマンド研修] 〈全〉 ■情報社会に主体的に参画する態度を育む指導 ■これからのへき地・複式・小規模校教育 〈小・中・高〉 ■多様な学びの支援 〈特〉 ■学校における医療的ケアについて		0.5日	
	授業実践研修	I	〈全〉 ■研修の進め方 ■自己課題の認識と自己目標の設定		0.5日	3日
		II	[ライブ配信研修] 〈全〉 ■自己目標の達成に向けた授業づくりⅠ ～授業実践①の振り返り～		0.5日	
		III	〈全〉 ■自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～		1日	
		IV	〈全〉 ■授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた取組の成果と課題～		1日	
	教育事務所研修		〈小・中〉 東部：■道徳教育について ■総合的な学習の時間について ■特別活動について 中部：■特別活動について ■道徳教育について 西部：■特別活動について ■総合的な学習の時間について ■道徳教育について		1日	
県立学校研修	〈高〉	■発達障害等のある生徒への理解と支援 ■キャリア・カウンセリングを通した生徒指導		1日		
	〈特〉	■特別支援教育における道徳教育 ■障害者の就労の現状				
在籍校研修	授業実践		〈全〉 ■授業実践① ■授業実践②		2回	

2 教育センター等研修の期日及び研修会場

期日・曜日	研修項目	研修会場				掲載 ページ
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	
5月13日(火)	共通課題研修Ⅰ 授業実践研修Ⅰ	高知県立 ふくし交流 プラザ	高知県教育センター			P. 43 ～45
7月8日(火)	共通課題研修Ⅱ 授業実践研修Ⅱ	在籍校				
9月5日(金)	授業実践研修Ⅲ	高知県教育 センター	—		高知県教育 センター	
9月9日(火)		—	高知県教育センター		—	
10月10日(金)	県立学校研修 (高)	—		高知県教育 センター	—	P. 46
10月16日(木)	県立学校研修 (特)	—			高知県教育 センター	
1月15日(木)	授業実践研修Ⅳ	—	高知県教育センター		—	P. 43 ～45
1月16日(金)		高知県教育 センター	—		高知県教育 センター	
各教育事務所 別の研修計画 を参照	教育事務所研修	各教育事務所別の実施要項を 参照		—		P. 46

3 項目別研修計画

(1) ねらい

【共通課題研修】

学級・ホームルーム経営の在り方を学び、児童生徒理解に基づく実践的な手法及び学級経営力を身に付ける。

【授業実践研修】

児童生徒等の実態及び自己の課題を明確にし、その課題解決に向けた研修を行うことを通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習指導力と実践的指導力を身に付ける。

【教育事務所研修】

児童生徒理解に基づく学級経営の手法や考え方及び道德教育等についての理解を深め、実践的指導力を高める。

【県立学校研修】

〈高等学校〉

これから求められる高校教育の在り方について理解し、実社会を生きる生徒に必要な資質・能力を育むための実践的指導力を高める。

〈特別支援学校〉

障害のある児童生徒等の自立と社会参加に向けた指導・支援の視点を学び、実践的指導力を高める。

(2) 日程及び内容

小学校

【共通課題研修Ⅰ・授業実践研修Ⅰ】

令和7年5月13日(火)

会場 高知県立ふくし交流プラザ

9:10	9:30		12:20	13:20	14:30	16:00
受付	開講式	講義・演習 児童生徒理解に基づく 学級・HR経営	研修の 進め方	昼 食	講義 教職員の サービス	グループ別研究協議 自己課題の認識と 自己目標の設定

※管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器（タブレット等）を持参すること。（P. 50参照）

【共通課題研修Ⅱ・授業実践研修Ⅱ】

令和7年7月8日(火) <午前>

【ライブ配信研修】

会場 在籍校

8:40 9:00 12:00

視聴期間：7月8日(火)～8月29日(金)

接 続	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅠ ～授業実践①の振り返り～
--------	--

【オンデマンド研修】(注)

- ①情報社会に主体的に参画する態度を育む指導
- ②これからのへき地・複式・小規模校教育
- ③多様な学びの支援

※8:50までに接続を完了すること。
出席確認を8:50に行います。

(注) オンデマンド研修は、勤務時間内に
設定し、視聴すること。

【授業実践研修Ⅲ】

令和7年9月5日(金)

会場 高知県教育センター

9:00	9:30		12:00	13:00		16:00
受付	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～	昼 食	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～			

【授業実践研修Ⅳ】

令和8年1月16日(金)

会場 高知県教育センター

9:00	9:30		12:00	13:00		16:00
受付	グループ別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～	昼 食	グループ別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～		閉 講 式	

中学校・高等学校

【共通課題研修Ⅰ・授業実践研修Ⅰ】

令和7年5月13日(火)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:20

13:20

14:30

16:00

受付	開講式	講義・演習 児童生徒理解に基づく 学級・HR経営	研修の 進め方	昼 食	講義 教職員の サービス	教科別研究協議 自己課題の認識と 自己目標の設定
----	-----	--------------------------------	------------	--------	--------------------	--------------------------------

※管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器（タブレット等）を持参すること。（P. 50参照）

【共通課題研修Ⅱ・授業実践研修Ⅱ】

令和7年7月8日(火)〈午後〉

【ライブ配信研修】

会場 在籍校

13:10 13:30

16:30

視聴期間：7月8日(火)～8月29日(金)

接続	教科別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅠ ～授業実践①の振り返り～
----	--

【オンデマンド研修】（注）

- ①情報社会に主体的に参画する態度を育む指導
- ②これからのへき地・複式・小規模校教育
- ③多様な学びの支援

※13:20までに接続を完了すること。
出席確認を13:20に行います。

（注）オンデマンド研修は、勤務時間内に
設定し、視聴すること。

【授業実践研修Ⅲ】

令和7年9月9日(火)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:00

13:00

16:00

受付	教科別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～	昼 食	教科別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～
----	---	--------	---

【授業実践研修Ⅳ】

令和8年1月15日(木)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:00

13:00

16:00

受付	教科別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～	昼 食	教科別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～	閉 講 式
----	--	--------	--	-------------

特別支援学校

【共通課題研修Ⅰ・授業実践研修Ⅰ】

令和7年5月13日(火)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:20

13:20

14:30

16:00

受付	開講式	講義・演習 児童生徒理解に基づく 学級・HR経営	研修の 進め方	昼 食	講義 教職員 のサービス	グループ別研究協議 自己課題の認識と 自己目標の設定
----	-----	--------------------------------	------------	--------	--------------------	----------------------------------

※管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器（タブレット等）を持参すること。（P. 50参照）

【共通課題研修Ⅱ・授業実践研修Ⅱ】

令和7年7月8日(火)〈半日〉

【ライブ配信研修】

会場 在籍校

8:40 9:00

12:00

13:10 13:30

16:30

接 続	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅠ ～授業実践①の振り返り～
--------	--

視聴期間：7月8日(火)～8月29日(金)

【オンデマンド研修】（注）

- ①情報社会に主体的に参画する態度を育む指導
- ②これからのへき地・複式・小規模校教育
- ③学校における医療的ケアについて

（注）オンデマンド研修は、勤務時間内に設定し、視聴すること。

※午前は8:50、午後は13:20までに接続を完了すること。出席確認を午前は8:50、午後は13:20に行います。

※グループ別に午前または午後の半日日程で実施（別途連絡）。

【授業実践研修Ⅲ】

令和7年9月5日(金)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:00

13:00

16:00

受付	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～	昼 食	グループ別研究協議 自己目標の達成に向けた授業づくりⅡ ～授業実践②の学習指導案検討～
----	---	--------	---

【授業実践研修Ⅳ】

令和8年1月16日(金)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:00

13:00

16:00

受付	グループ別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～	昼 食	グループ別研究協議 授業実践発表 ～自己目標の達成に向けた 取組の成果と課題～	閉 講 式
----	--	--------	--	-------------

【教育事務所研修】 **小学校・中学校**

期日	研修内容	研修会場
東部教育事務所 10月16日（木） 【9:30～16:30】	○道徳教育について ○総合的な学習の時間について ○特別活動について	実施要項にて通知
中部教育事務所 10月16日（木） 【9:00～16:00】 ※研修会場によっては時間変更あり	○特別活動について ○道徳教育について	実施要項にて通知
西部教育事務所 10月9日（木） 【9:20～16:20】	○特別活動について ○総合的な学習の時間について ○道徳教育について	四万十市総合文化センター しまんとびあ

【県立学校研修】

高等学校

令和7年10月10日(金)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:00

13:00

16:00

受付	講義・演習 発達障害等のある生徒への理解と支援	昼食	講義・演習 キャリア・カウンセリングを通じた 生徒指導
----	----------------------------	----	-----------------------------------

特別支援学校

令和7年10月16日(木)

会場 高知県教育センター

9:00 9:30

12:30

13:30

16:00

受付	講義・演習 特別支援教育における道徳教育	昼食	講義・演習 障害者の就労の現状
----	-------------------------	----	--------------------

令和7年度 2年経験者研修 授業実践シートの記述について

受講者番号	学校名	教科/ 担当学年	受講者氏名
-------	-----	-------------	-------

1

自己課題の認識

(1)【初任者研修の授業実践の振り返り】

初任者研修で作成した授業実践シートや自己評価票を基に、これまでの授業実践について振り返り、自己課題（教材研究、授業構成、評価、発問、板書、学習形態等）を具体的に記述する。

【5月13日「授業実践研修Ⅰ」に持参】

2

授業実践①

(1)【成果と課題】

自己目標達成に向けた取組について、授業後の研究協議や授業動画の分析から明らかにしたこと等を具体的に記述する。

※授業実践①の研究協議後に記述
※7月1日までに各教科担当指導主事等へ事前提出

3

1年間の授業実践の振り返り

【1年間の授業実践の振り返り】

1年間の授業実践を通して得られた、自己目標達成に向けた成果とその要因、残った課題や新たな課題と課題改善の視点を明確にし、次年度への具体的な実践につなげられるように記述する。

※授業実践②の実施後に記述
※1月9日（小・特）、1月8日（中・高）までに各教科担当指導主事等へ事前提出
【1月16日（小・特）、1月15日（中・高）「授業実践研修Ⅳ」に持参】

4

課題解決に向かう自己目標

(4)【課題解決に向かう自己目標】

(1)の振り返りと、(3)の目指す児童生徒の姿から、本年度の授業実践における自己目標を具体的に記述する。

【5月13日「授業実践研修Ⅰ」に持参】

5

児童生徒の実態把握・目指す児童生徒の姿

(3)【目指す児童生徒の姿】

児童生徒の学力等の実態を基に、授業実践を通して目指す1年後の児童生徒の姿を記述する。

※資質・能力を身に付けた姿を具体的に記述する。

【5月13日「授業実践研修Ⅰ」に持参】

6

児童生徒の学力等の実態

(2)【児童生徒の学力等の実態】

担当する児童生徒の学力等の実態について具体的に記述する。

※小・特は選択教科等における児童生徒の学力等の実態について記述する。

【5月13日「授業実践研修Ⅰ」に持参】

7

授業実践②

(2)【授業実践研修Ⅲにおける取組】

「授業実践研修Ⅲ」の学習指導案検討で出されたことを踏まえ、自己目標達成のために授業実践②ではどのような取組をするのか具体的に記述する。

※「授業実践研修Ⅲ」受講後に記述
※授業実践②の実施2週間前までに各教科担当指導主事等へ事前提出

8

授業実践③

(4)【成果と課題】

「②(3)授業実践研修Ⅲにおける取付き」で記述した授業実践②での取組が効果的であったか、研究協議や授業動画等で検証・分析を行い、成果と課題を記述する。

※授業実践②の実施後に記述
※1月9日（小・特）、1月8日（中・高）までに各教科等担当指導主事等へ事前提出
【1月16日（小・特）、1月15日（中・高）「授業実践研修Ⅳ」に持参】

9

次年度の授業実践力向上に向けた方策

2年経験者研修を通しての成果と課題をもとに、次年度の授業実践力向上に向けた具体的な方策を記述する。

10

校長所見

次年度に向けて、受講者がさらに向上できるよう、2年経験者研修における受講者の取組や日々の教育活動の中で気付いた点を記述する。

校長名

-47-

4 「授業実践研修」の流れ（提出物及び持参物等）

月	4	5	6	7
在籍校研修等	自己課題の解決に向け、教育センター等研修と在籍校における2回の授業実践を			
			授業実践① 実施期間 6/2(月)～6/30(月) ■授業を動画撮影する。 ■公開授業及び研究協議を管理職同席のもと行う。 ■研究協議は授業動画の分析を通じて自己目標達成に向けた課題を明らかにする。 ◆公開授業訪問(小) 実施期間 6/2(月)～6/30(月) ■小学校の公開授業訪問については、授業実践①または②のいずれかを選択する。 	
教育センター研修		授業実践研修Ⅰ 5/13(火)		授業実践研修Ⅱ 【ライブ配信研修】 7/8(火)
		授業実践シートを基に自己課題の解決に向かう自己目標等について協議を行う。		自己目標達成に向けた取組や、新たに気付いた課題等について協議を行う。
○提出物	○受講教科調査(小) 【締切】4/10(木) ※二次元コード ○公開授業訪問日調査(小) 【締切】4/14(月) ※二次元コード	○公開授業訪問日調査(中・高・特) 【締切】5/12(月) ※二次元コード	○学習指導案① ○授業実践シート(①まで記述) ○年間指導計画(特) 注1 【締切】授業実施日2週間前 補助資料は、使用するワークシート・振り返りシート等を指します。	○実施した学習指導案① ○授業実践シート(②(1)まで記述) ○補助資料 ○授業後の板書写真 ○年間指導計画(特) 【締切】7/1(火)
●持参物		●授業実践シート(①まで記述) ●自己評価票(「自己の達成規準」を記述) ※研修当日に授業実践①の実施日を各教科担当指導主事等に連絡する。 ※HP掲載日5/7(水)		※事前準備の詳細については、各教科担当指導主事等から連絡する。
通知		公開授業訪問決定通知(小)(中旬)	公開授業訪問決定通知(中・高・特)(中旬)	
て上 の確 実 施 に 当 た つ 項	初任者研修の振り返り及び日々の授業実践から明らかになった自己課題の解決に向け、授業実践を行うこと。 <研修の提出物及び持参物等> ・提出物の様式は、県教育センターHP「若年教員研修」からダウンロードすること。 ・5月13日(火)の授業実践研修Ⅰにおける資料持参部数等は、県教育センターHP「年間研修カレンダー」に掲載する。 ・学習指導案、授業実践シートは、締切日までに各教科担当指導主事等より指定された方法で提出する。			

8	9	10～12	1	2～3
通して、PDCAサイクルを機能させながら、授業実践力を向上させる。				
		授業実践② 実施期間 10/1（水）～12/12（金） ■授業を動画撮影する。 ■公開授業及び研究協議を管理職同席のもと行う。 ■研究協議は授業動画の分析を通じて自己目標達成に向けた課題を明らかにする。 ◆公開授業訪問（小）、（中・高・特） 実施期間 10/1（水）～12/12（金）		
	授業実践研修Ⅲ 9/5(金)小・特 9/9(火)中・高		授業実践研修Ⅳ 1/16(金)小・特 1/15(木)中・高	
	授業実践②の学習指導案検討を行い、自己課題を更に明らかにし、課題の解決に向かう。		授業実践シートを基に1年間の授業実践の発表及び研究協議を行う。	
	○学習指導案② ○授業実践シート (2)(2)まで記述 ○年間指導計画（特） 小・特【締切】8/22（金） 中・高【締切】8/26（火）	（加筆・修正した） ○学習指導案② ○授業実践シート (2)(3)まで記述 【締切】授業実施日2週間前	○授業実践シート（3）まで記述 小・特【締切】1/9（金） 中・高【締切】1/8（木） 【授業実践研修Ⅳ受講後】注2 ○授業実践シート（1）～4及び校長所見を記述） ○自己評価票（本人及び校長評価を記述）	
	●学習指導案② ●授業実践シート (2)(2)まで記述 ●補助資料 ●年間指導計画（特）		●実施した学習指導案② ●授業実践シート（3）まで記述 ●補助資料 ●授業後の板書写真 等 ●年間指導計画（特）	
注1＜特別支援学校における選択教科等の「年間指導計画」の提出及び持参について＞				
当該研修では、効果的な指導ができるよう「年間指導計画」を活用し研究協議を実施する。授業実践①②において選択する教科等の「年間指導計画」を「学習指導案」とともに指導主事等へ提出すること。				
注2＜授業実践研修Ⅳを受講後の提出物について＞				
小・中	校長→当該市町村（学校組合）教育長	締切 1/30(金)		
	当該市町村（学校組合）教育長→県教育センター所長	締切 2/6（金）		
県立	校長→県教育センター所長	締切 2/6（金）		
【提出方法】グループウェアのメッセージ 県教育センター「若年教員研修担当」あて				

5 「授業実践研修」における留意事項

◆ 情報端末機器（タブレット等）及び Google アカウントの持参について

高知県教育委員会から配付された Google アカウント（〇〇@g.kochinet.ed.jp）及び所属の自治体（県立の場合は県）が持ち出しを認めている学校の情報端末機器（タブレット）で、管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器を持参すること。持参できない場合は、センターの機器を貸し出すので、研修当日、会場で申し出ること。

※県立学校においては、令和6年6月5日付け6高教政第194号【分類番号 11-04-9999】「教職員用パソコン（校務系・学習系）の学校外での利用について（通知）」の運用ルールを管理職と確認のうえ持参すること。

◆ 年次研修にかかる提出物について

研修にかかるすべての提出物は、必ず管理職の決裁を受けてから提出すること。

【提出方法】

小・中
県立

 学校長→当該市町村（学校組合）教育長→県教育センター所長
学校長→県教育センター所長

※学習指導案、授業実践シートに限っては、管理職の確認の後、本人より各教科担当指導主事等に提出する。

◆ 授業実践について

年次研修における授業実践については、研修の趣旨および若年教員の負担を鑑み、他の主催する事業と兼ねることは適切ではない。ただし、各学校の校内のみで行う研修の取組と連動させることは可能とする。その場合は、受講者、管理職等が研修のねらいに沿った協議ができる場を別に設定し協議を行うこととする。

（1）小学校の「授業実践研修」における受講教科について

「授業実践研修」における受講教科は、「国語、社会、算数、理科、生活」の5教科のうち、初任者研修で選択した教科以外とする。受講者は、入力内容を管理職と相談・確認のうえ、4月10日（木）までに二次元コードから回答する。（P.52 参照）選択した教科が受講教科となる。決定通知は行わない。

（2）公開授業訪問について

公開授業訪問は各教科担当指導主事等が年間1回訪問し、参観のうえ指導・助言を行う。

【小学校】

授業実践①（6月2日（月）～6月30日（月））または**授業実践②**（10月1日（水）～12月12日（金））のいずれかで訪問する。

【中学校・高等学校・特別支援学校】

授業実践②（10月1日（水）～12月12日（金））で訪問する。

ア 訪問日決定について

受講者は、管理職が同席できる日程を相談・確認のうえ、行事等と重ならないよう留意し、二次元コードから回答する。第3希望まで必ず入力し、同日とならないようにすること。

【小学校】 4月14日（月）17:00 まで （P.53 参照）

【中学校・高等学校・特別支援学校】 5月12日（月）17:00 まで

提出された「公開授業訪問日調査」を基に県教育センターで調整後、日程及び各教科担当指導主事等を決定し、小学校は5月中旬に、中学校・高等学校・特別支援学校は6月中旬に通知する。

イ 実施方法について

- ・授業及び研究協議の時間は、それぞれ1単位時間とし、できるだけ連続した時間になるように計画する。
- ・公開授業と研究協議は、管理職が同席する。
- ・他の主催する訪問や事業と兼ねないよう留意する。

ウ 提出物について

公開授業訪問に係る学習指導案等の提出については、P.48、49を参照すること。

(3) 在籍校での授業実践について

管理職等の参観による公開授業を行う。(P.74 参照。)その際、授業の様子を動画撮影し、授業実施後、授業動画の分析を行う。授業動画の分析は、可能な限り複数名で行い、指導・助言を受ける。また、研究協議とあわせて行ってもよい。研究協議は、管理職を含む複数名(教科会・学年団等)で行い、授業実践シートを活用し、自己目標達成に向けた課題解決を柱とした協議を行うこと。

授業実践①または②のどちらか1つは、単元内に1人1台端末の活用を位置付ける(本時に限らない)こと。

ア 授業実践①(6月2日～6月30日)について

「授業実践研修Ⅰ」を受講後、在籍校において学習指導案等を作成し、「授業実践①」実施2週間前までに、学習指導案等を各教科担当指導主事等に提出し、指導・助言を受ける。指導・助言を受け加筆・修正した学習指導案は、授業実践①実施前に提出する。授業動画の分析及び研究協議後に授業実践シート[2](1)を記述し、7月1日(火)までに各教科担当指導主事等へ提出する。

イ 授業実践②(10月1日～12月12日)について

「授業実践研修Ⅲ」を受講後、加筆・修正した学習指導案等を、授業実施2週間前までに各教科担当指導主事等に提出し、指導・助言を受ける。指導・助言を受け加筆・修正した学習指導案は、授業実践②実施前に提出する。

(4) 特別支援学校の「授業実践研修」について

ア 教育課程について

受講者は、担当する教育課程を確認し授業実践を実施すること。なお、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育課程(以下「準ずる教育課程」という。)と、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教育課程(以下「知的の教育課程」という。)の両方を担当している場合は、どちらかに統一して実施すること。

イ 準ずる教育課程で実施する場合

授業実践①、②は、担当する「教科」または「特別の教科 道徳」のどちらかを選択すること。また、①、②とも選択した同一の教科等で実施すること。

ウ 知的の教育課程で実施する場合

授業実践①、②は、「知的の教科」または「特別の教科 道徳」のどちらかを選択すること。また、①、②とも選択した同一の教科等で実施すること。

指導の形態については、「教科別の指導」または「各教科等を合わせた指導」とする。

(5) 「授業実践研修Ⅱ」(7月8日)について

ライブ配信で研修を実施する。在籍校において、通信環境が良く、研修に専念できる環境で受講すること。マイク、カメラ機能のある端末を使用し、1人1台で接続する。午前は8:50、午後は13:20に出席確認を行うため、時間までに接続を完了すること。

(6) 「授業実践研修Ⅳ」について

授業実践シート([1]～[3])及び「授業実践②」の学習指導案等を用いて、1年間の授業実践について発表を行い、研究協議を行う。

(7) 「授業実践シート」について

「授業実践シート」は、教育センター等研修、在籍校における授業実践、研究協議等で活用し、年間を通して効果的なPDCAサイクルとなるように、その都度追記・修正する。なお、記述する際には、以下のア、イについて留意する。

ア A3用紙に、フォントサイズは10～11ポイントで記述する。

イ 記述内容については、「授業実践シートの記述について」(P.47)を参照する。

(8) 授業チェックシートの活用について

公開授業等の授業実践の際には、管理職等の参観者に「授業チェックシート」(P.75)を記述してもらうなど、自己の授業の振り返りができるように工夫する。

(9) 自己評価票について

「自己評価票」(P. 76～)は、「高知県教員育成指標」に対する「自己の達成規準」を作成し、自己評価を行うとともに校長との面談等を通して教育実践を振り返り、次のステップに生かすよう活用する。なお、校長評価を1月にしてもらう。

(10) 提出した学習指導案について

本研修で提出した学習指導案については、教科研究センターにて広く活用できるように、閲覧・複写可能な資料として公開する。また、研修等の資料として使用する場合がある。なお、その場合、学校名、教諭名及び個人が特定されるような情報等については、県教育センターにて削除する。

【センター研修での持参物】

全校種	●情報端末機器（タブレット等） ●若年教員研修の概要 ●授業実践シート ●「高知県授業づくり Basic ガイドブック～若年教員のための基礎・基本～」または「高知県授業づくり Basic ガイドブックー高校授業編ー」 ●若年教員研修のしおり「子どもと生きる」 ●名札（在籍校で使用しているもの）
小・中・高	●担当（受講）教科の学習指導要領解説 ●担当（受講）教科の使用教科書等 ●担当教科の『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』 【国立教育政策研究所 http://www.nier.go.jp/】
特	●特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) ●特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(高等部) ●準ずる教育課程における担当教科の学習指導要領解説等 ※実践に関係するものを持参すること。

2 年経験者研修 受講教科調査（小学校）

※二次元コードから回答する。

※管理職と入力内容を相談・確認のうえ、回答する。

※入力及び回答については、P. 50 参照。

高知県教育委員会から配付された Google アカウントをご使用ください。
回答内容は、印刷する等し、保管するようにしてください。



【4/10締切】令和7年度2年経験者研修 受講教科調査（小学校）

※管理職と相談・確認のうえ回答してください。
※入力及び回答については、概要P.50参照。

@g.kochinet.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

① 受講者番号（半角）

※「2100」からはじまる4ケタの番号です。
不明な場合は管理職に確認してください。

回答を入力

② 学校名

例) 〇〇立〇〇〇学校

回答を入力

※受講教科は、国語・社会・算数・理科・生活の5教科のうち、初任者研修で選択した教科以外から選択してください。



<https://x.gd/s0eAE>

2年経験者研修 公開授業訪問日調査(全校種)

※二次元コードから回答する。

※管理職と入力内容を相談・確認のうえ、回答する。

※入力及び回答については、P. 50、51 参照。

高知県教育委員会から配付された Google アカウントをご使用ください。
回答内容は、印刷する等し、保管するようにしてください。



2年経験者研修 公開授業訪問日調査(小学校)

【4/14締切】 令和7年度 2年経験者研修 公開授業訪問日調査(小学校)

※管理職と相談・確認のうえ回答してください。
※公開授業訪問希望日は、**第3希望まで必ず記入し、同日とならないようにする。**
※入力及び回答については、概要P.50、51参照。

* 必須の質問です

①受講者番号(半角)

※受講者番号は、「2100」からはじまる4ケタの番号です。
不明な場合は管理職に確認してください。

回答を入力

②学校名

例) 〇〇立〇〇〇学校

回答を入力

※公開授業訪問希望日は、**第3希望まで必ず記入し、同日とならないようにしてください。**



公開授業(小)

<https://x.gd/yKkTq>

2年経験者研修 公開授業訪問日調査(中学校・高等学校・特別支援学校)

【5/12締切】 令和7年度 2年経験者研修 公開授業訪問日調査(中学校・高等学校・特別支援学校)

※管理職と相談・確認のうえ回答してください。
※公開授業訪問希望日は、**第3希望まで必ず記入し、同日とならないようにする。**
※入力及び回答については、概要P.50、51参照。

@g.kochinet.ed.jp [アカウントを切り替える](#)

共有なし

* 必須の質問です

①受講者番号(半角)

※受講者番号は、「2000」からはじまる4ケタの番号です。
不明な場合は管理職に確認してください。

回答を入力

②学校名

例) 〇〇立〇〇〇学校

回答を入力

※公開授業訪問希望日は、**第3希望まで必ず記入し、同日とならないようにしてください。**



公開授業 中高特

<https://x.gd/vf03t>

